

第 88 回京都中央メーデー 地域アピール

連合京都京都市地域協議会は、2009年4月に結成され、今年8年目を迎えた。今日に至るまで、毎月の「連合の日」周知街頭行動をはじめ、勤労者の雇用の安定と安心・安全な生活の実現に向けて「京都市自治体政策制度要請」や「区長懇談会」などに取り組んできた。

本日の第88回京都中央メーデーを開催するにあたり、積極的に運営・管理を行うなど、私たちのモットーである「地域に根ざした、地域に顔の見える運動」を前進させてきた。

私たち連合京都に結集する仲間は、2017春季生活闘争で「底上げ・底支え」「格差是正」を掲げ、すべての働く者の賃上げの実現をめざして闘争を推進してきた。しかし、経済・社会情勢は格差の拡大情勢は格差の拡大、大幅な財政赤字、社会保障制度改革の遅れなど、依然として厳しい状況である。

このような状況下の中、2011年の「東日本大震災」からの復興途上にある中、昨年「熊本県を中心とする九州地震」「鳥取地震」において、多くの方々が犠牲となられたことに哀悼の意を表す。このような時にこそ、労働運動の原点である「助け合い・支え合い」「地域とともに」社会的な役割を果たしていかなければならない。被災地の日も早い復旧・復興に向けて連合に集う仲間とともに連合京都京都市地域協議会も最大限の取り組みを展開していく。

一方では、「暮らしの底上げ」「労働者保護ルール改悪阻止」「介護や子育て支援の充実」を実現することに向け、働く仲間と共に、「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキャンペーン」で地域の人々をつなぎ、地域で働く仲間と共に歩み、地域におけるより深い理解と共感が得られる運動を全力で展開している。

私たち連合京都京都市地域協議会は、構成組合員の総力を結集し、京都市の各行政区や地元議員・NPOをはじめ、地域で暮らす市民の方々とともに、幅広く連携を図っていく。連合京都が掲げる「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、「地域に根ざした、地域に顔の見える運動」のさらなる充実と強化に邁進する。

2017年4月29日
第88回京都中央メーデー
連合京都京都市地域協議会